

(平成22年2月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>2月期の野菜の入荷状況は、根菜類は寒波による肥大不足が見られたものの、中央集散機能の発揮によって入荷増となり、果菜類は多くの品目が曇天と低温によって入荷減となったものの、生育の遅れていたトマトが当月に集中入荷したことで入荷増となった。一方、土物類は依然品薄状態が続いており、葉菜類は生育期等の天候不順から入荷減となる品目が多く、野菜全体の入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は、根菜類、葉菜類、土物類が全国的な品薄状態から単価高となり、果菜類についても曇天と低温による生育遅れから入荷減の単価高となる品目が多く、野菜全体では前年同期を13%上回った。</p> <p>品目別には、西洋ニンジン、ハクサイが入荷増の単価安、キャベツ、レタス、キュウリ、ナス、バレイショ、タマネギが入荷減の単価高となり、長ダイコン、トマトは入荷増の単価高、ハウレンソウ、ピーマンは入荷前年並みの単価高となった。</p> <p>根菜類は、入荷が5%増加し、価格は4%高となった。 葉菜類は、入荷が3%減少し、価格は17%高となった。 果菜類は、入荷が3%増加し、価格は9%高となった。 土物類は、入荷が12%減少し、価格は28%高となった。</p>
果 実	<p>2月期の果実の入荷状況は、イチゴ類やメロン類は生育の遅れていたものが当月に集中入荷して入荷増となったものの、柑橘類はイヨカン等の晩柑類を中心に入荷減となり、リンゴ類も小玉傾向のため入荷減となったことから、果実全体の入荷量は前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は、リンゴ類が大幅な入荷減によって単価高となったものの、柑橘類やメロン類は不況による需要の低迷により単価安となり、果実全体では前年並みとなった。</p> <p>品目別には、ミカン、アールスメロンが入荷増の単価安、ふじ、王林が入荷減の単価高となり、イヨカンは入荷減の単価安、イチゴは入荷増の単価前年並みとなった。</p> <p>柑橘類は、入荷が4%減少し、価格は19%安となった。 リンゴ類は、入荷が16%減少し、価格は12%高となった。 イチゴ類は、入荷が7%増加し、価格は前年並みとなった。 メロン類は、入荷が5%増加し、価格は23%安となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長ダイコン</p>	<p>徳島県，長崎県を中心に，鹿児島県，和歌山県，神奈川県からの入荷。各産地とも低温で肥大が悪く品薄状態だったが，中央集散機能の発揮により，入荷量は前年同期を10%上回った。 価格は，入荷増ながら全国的には品薄状態であり，前年同期を11%上回った。</p>
<p>西洋ニンジン</p>	<p>鹿児島県を中心に，長崎県，愛知県，千葉県からの入荷。各産地とも低温による肥大不足から細物傾向ではあるものの，作柄は良く，入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は，入荷増に加え，不況による需要の低迷から前年同期を19%下回った。</p>
<p>【葉菜類】 ハクサイ</p>	<p>鹿児島県を中心に，兵庫県，愛知県，茨城県，滋賀県からの入荷。主力の鹿児島県は作柄良好で，入荷量は前年同期を17%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を12%下回った。</p>
<p>キャベツ</p>	<p>愛知県を中心に，大阪府，滋賀県，鹿児島県，兵庫県からの入荷。主力の愛知県が生育初期の天候不順により作柄悪く，全体の入荷量は前年同期を10%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を26%上回った。</p>
<p>ホウレンソウ</p>	<p>京都府，徳島県を中心に，福岡県，滋賀県，熊本県からの入荷。各産地ともに低温による生育遅れが見られたものの，中央集散機能の発揮により，入荷量は前年並みとなった。 価格は，全国的な品薄状態により前年同期を34%上回った。</p>
<p>レタス</p>	<p>兵庫県を中心に，長崎県，徳島県，愛媛県，岡山県からの入荷。各産地とも生育期の天候不順によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を28%下回った。 価格は，全国的な品薄状態により前年同期を41%上回った。</p>
<p>【果菜類】 キュウリ</p>	<p>宮崎県を中心に，高知県，愛媛県，滋賀県，徳島県からの入荷。各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を7%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を12%上回った。</p>
<p>ナス</p>	<p>高知県を中心に，岡山県，徳島県からの入荷。各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を9%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を12%上回った。</p>

<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に、福岡県、三重県、佐賀県、鹿児島県からの入荷。主力の熊本県では前月までの低温により生育が遅れていたが、当月は好天に恵まれて作柄が回復し、全体の入荷量は前年同期を14%上回った。</p> <p>価格は、前年が単価安で推移したため、入荷増ながら前年同期を4%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県からの入荷。</p> <p>各産地とも曇天と低温による生育遅れが見られたが、前年も作柄不良による入荷減だったため、入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は、品薄状態から前年同期を3%上回った。</p>
<p>【土物類】 パレイショ (メイク含む)</p>	<p>北海道を中心に、鹿児島県、長崎県からの入荷。</p> <p>主力の北海道産は夏期の長雨等による品薄状態が続いており、入荷量は前年同期を25%下回った。</p> <p>価格は、全国的な品薄状態が続いており、前年同期を34%上回った。</p>
<p>タマネギ</p>	<p>北海道を中心に、兵庫県、アメリカ、中国、静岡県からの入荷。</p> <p>主力の北海道産は夏期の長雨等により品薄状態が続いており、輸入量が増加したものの、入荷量は前年同期を5%下回った。</p> <p>価格は、全国的な品薄状態から前年同期を52%上回った。</p>
<p>【その他野菜】 生シイタケ</p>	<p>徳島県を中心に、和歌山県、広島県、岡山県、北海道からの入荷。安定した入荷となり、入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は、不況による需要の低迷が続いているものの、前年が大幅な単価安だったため、前年同期を4%上回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に，福岡県，徳島県，静岡県からの入荷。 本年は表年で豊作傾向のため，入荷量は前年同期を17%上回った。 価格は，入荷増に加えて流通在庫が多く，前年同期を28%下回った。</p>
イヨカン	<p>愛媛県からの入荷。 作柄は前年並みだったものの，不況による需要の低迷から出荷調整があり，入荷量は前年同期を26%下回った。 価格は，不況による需要の低迷から流通在庫が多く，入荷減ながら前年同期を18%下回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森県を中心に，秋田県，岩手県，山形県からの入荷。 各産地とも小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を15%下回った。 価格は，入荷減によって前年同期を12%上回った。</p>
玉林	<p>青森県を中心に，岩手県からの入荷。 各産地とも小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を25%下回った。 価格は，入荷減によって前年同期を14%上回った。</p>
イチゴ	<p>熊本県を中心に，福岡県，大分県，佐賀県，長崎県からの入荷。 前月の低温で生育の遅れていた熊本県産が集中入荷し，全体の入荷量は前年同期を7%上回った。 価格は，入荷増ながら，上位等級の割合が多く前年並みとなった。</p>
アールス	<p>静岡県を中心に，高知県，宮崎県，熊本県からの入荷。 各産地とも生育期の低温で遅れていたものが当月へ集中入荷し，入荷量は前年同期を15%上回った。 価格は，入荷増に加え，不況による需要の低迷から，前年同期を31%下回った。</p>